



安井 夏生
(やすい なつお)
病院長

- 1947年(昭和22年)生まれ
- 1973年(昭和48年)徳島大学医学部医学科卒業
- 1982年(昭和57年)
大阪大学大学院医学研究科修了(医博修了)
- 2011年(平成23年)病院長就任
- 2013年(平成25年)病院長再任

専門分野

- 整形外科 ●骨系統疾患
- 小児整形外科 ●難治骨折

地域に根ざし世界に羽ばたく徳島大学病院を目指して

病院長就任時から人材の確保・育成に力を入れてきました。特に、若手医師の地方離れ、大学離れが深刻となっていますが、キャリア形成を支援すること、処遇を改善することにより、医師の確保につなげたいと考えています。また、医師以外の職員に対しても、資格取得の支援やポストを増設するなど、様々な取り組みを行ってきました。総合メディカルゾーンでは、本院と県立中央病院との隣接条件を活かし、「連携強化」や「効果的な機能分担」を進め、県全体の「医療の質の向上」などを図っています。具体的には、連絡橋を開通させるなどのハード面での整備に加えて、医師の派遣等ソフト面についても連携を進めていきたいと考えています。また、災害拠点病院としての体制を整備するとともに、新外来診療棟の改築についても患者の皆様に喜んでいただけるよう、より良いものが完成するように尽力してまいります。病院長として日々いかにして職員にやりがいのある職場環境を提供することができるかを考えています。究極的には、そのことが患者の皆様に安心かつ安全な医療を提供することに繋がると考えるからです。今後も特定機能病院として高度医療の実践及び開発、また優れた医療従事者の育成に取り組んでまいります。

患者の皆様へ

次世代の医療を背負って立つために

「卒後臨床研修センター」

卒後臨床研修とは、医師になって最初の2年間に行われる研修のことで、各診療科をローテーションしながら指導医とともに診療にたずさわります。患者さんはいくつもの病気を同時に有することが多く、自分の専門以外の疾患や治療方法を理解し、患者さんを全人的に診療できるようにすることを目的としています。本院では常時40名以上の臨床研修医が各診療科で研修をしております。医師不足がいわれている現在、知識・技術・態度を兼ね備えたすぐれた医師を徳島で育成するためにも、患者の皆さまのご協力をお願いいたします。